

〔曲名〕 Se Fossi Bella

若し美しかったなら

〔曲種〕 Romanza

ロマンツァ

〔作曲者〕 Domenico De Giovanni

ドメニコ デ ジョヴァンニ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者については、第2集の「星一つ空に瞬く！」の解説以外は余り判っていない。

本曲も原譜の表紙に見られるとおり、1898年10月、ボローニャで出版された「L'Armonia」と云うマンドリンとピアノの月刊誌（月2回）の創刊号である。

同じボローニアでも「イル・コンチェルト」の方は永く続いたが、この方は短命であった。

本作者の作品で本邦でよく知られているのは、「ト調のシンフォニア」「小交響詩」「センピョーネトンネル貫通序曲」

「ローマ＝トリーノ」「アンデスの花」「夜の印象」などであるが、沢山の佳曲が埋もれたまゝになっている。

「失恋」「小悪魔」「妖精」「白百合」「呪いのセレナータ」「空よりの微笑」「接吻しないで」「暗夜」「忘れないで」

「剽軽者たち」「幼児の悲しみ」「遙かな祖国」「孤独」「懐かしき山々」「すみれ」「静かな波」など。

よく「R.M.P」と略して書いた曲集があるが、これは「Romanza senza Parola」（無言歌）のことで本曲には作者の抒情が至るところに顔をだす。

著名なアダムのオペラに、「Se Fossi Re」（我れ若し王者なりせば）があり、

その序曲は「アリエンツォ」（マルチェルリのペンネーム）の編曲でマンドリン合奏曲にもなっているが、

「我れ若し美しかりせば」とすれば、女性の希（こいねが）いと解されるが、作者の真意は筆者には確

と判りかねる。

1993年 4月 発行

マンドリン合奏曲集4集 (JMU版 パート譜付) より